

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

国際的な視野に立ち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する。

売上収益
4,000億円

営業利益
280億円

ROE
8%

CO2排出量削減
50%

② 中長期の経営戦略

1. 稼ぐ力強化

スピード感ある価値創造でお客ニーズに対応。鋼・鍛のポテンシャル最大発揮、電子部品・GMPS・磁石・ステンレス等新事業促進。

3. マルチパスウェイ貢献

次世代製鋼プロセス構築で品質・コスト・納期実現。鍛造設備最適化でグリーン鍛造へ進化。カーボンニュートラル貢献加速。

2. 社会的価値創造

資源循環型モノづくり強化。社会課題対応できる人材育成。成長投資と株主還元でキャッシュ積極配分でPBR改善。

4. グローバルサウス展開

インド市場をはじめとする成長地域で資源循環型モノづくり展開。環境負荷最小化と安定供給に貢献。

③ 対処すべき課題

① 国際経済不確実性

- ・ トランプ政権関税政策による貿易摩擦激化の懸念
- ・ 世界BEVシフト再加速に対応した自動車技術開発
- ・ 輸出落ち込みと輸入物価上昇への対応

② 変化に強い体質構築

- ・ DX・情報基盤整備によるリアルタイム経営実現
- ・ ムダ・ムラ・ムリ排除した物流改革推進
- ・ 環境にやさしい「鉄屋」としての位置付け強化

③ カーボンニュートラル実現

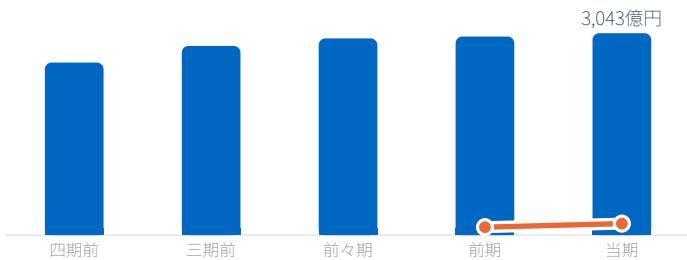
- ・ 2030年度CO2排出量50%削減（2013年度比）達成
- ・ 刈谷工場での水素・都市ガス兼用バーナ実証実験
- ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた水素技術開発

面接で使えるポイント

- ・ 「環境に一番やさしい鉄屋」として創業精神継承し、2030年度売上4,000億円・営業利益280億円目標達成を目指している…
- ・ 電子部品・GMPS・磁石など4つの価値創造領域でスマート社会貢献とともに、インド等グローバルサウス市場開拓を積極推進。
- ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向け、刈谷工場での水素技術実証や資源循環型モノづくり強化など全方位で環境対応を推進。

証券コード 5482

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,043億円営業利益率
5.7%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 60.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
802万円
鉄鋼内 8位/38社平均年齢
39.6歳
鉄鋼内 33位/38社平均勤続
17.7年
鉄鋼内 18位/38社女性管理職
2.1%
鉄鋼内 21位/32社男性育休
64.5%
鉄鋼内 20位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

